

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年11月30日

仙台市 六郷児童館 ハッピードール

針と糸をはじめ持つ小さな子から、細かいかがり縫いや、ボタン付けまで、なんでもござれの達人5年生の男の子まで、幅広い年齢層でつくるものも多種多彩です。

大好きな昆虫の絵を描いたあと、その袋状の布地に綿を詰め、「でぶこんちゅう」をつくれた男の子。作品をみんなに「でぶちゅう！」と呼ばれても、なんだかうれしそう。綿を入れる部分を全部縫ってしまって、残念ながら二次元的ハッピードールになった女の子の作

品も、それはそれで、とっても可愛くできました。同じキャラクター「しずく」のかたち、ブルーの布地の作品をつくれた女の子たちは、針と糸を使うのは超初心者のようでしたが、作品は、なにになに上出来でありました。

金色の布地を使って、ドラゴンをつくれた男の子の2人組は、羽やボタンの目玉もくっつけて、作品を持っ

てはポーズを決めてくれます。この子たちは、モールにカッコいいボタンを通して、指輪、首飾りなどもつくっては身につけてニッコリ。ワークショップを楽しんでくれたようです。人数もほどよかったせいか、なんだかみんなの針を持つ手は止まらず、子どもたちからは、「ずっとやっていたあい！」のありがたいお言葉も！ お昼も食べなくちゃいけないからと、涙をのんでのお片づけとなった「ハッピードール」だったのであります。

